

まちづくり評価シート

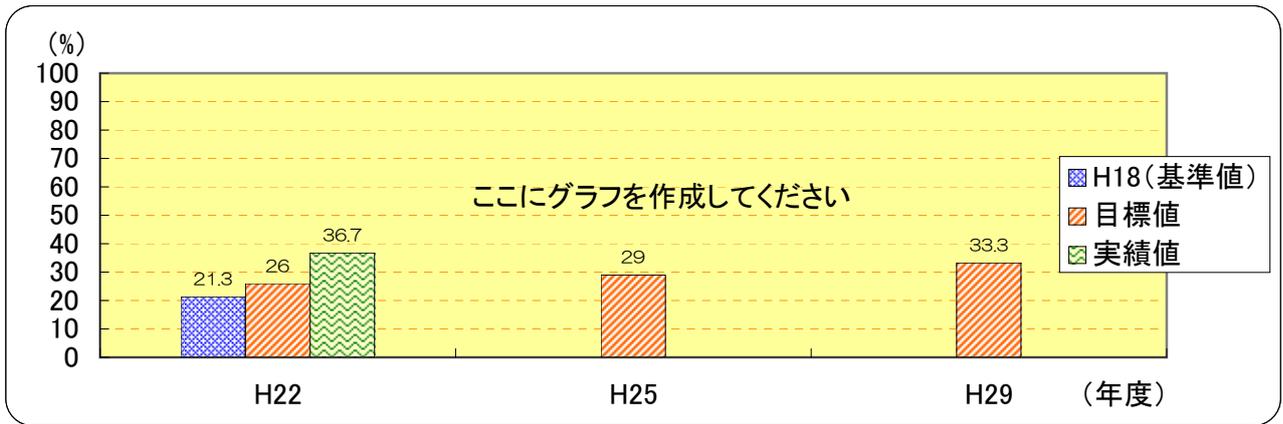
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

まちづくり課【担う柱:1 秩序と賑わいのある快適なまちづくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 秩序ある都市計画により、美しく賑わいのあるまちで暮らしている

指標名	秩序ある、美しいまちなみが形成されていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析 江南駅のバリアフリー化、交通環境改善事業実施や、布袋駅の鉄道高架及び土地区画整理の進捗率が上がったため。
目標値	%	—	26.0	
実績値	%	21.3	36.7	
達成率	%	—	141.2	
達成状況	—	—	☀️	



全体目標に対するまちづくり評価

市民のニーズを把握し施策を遂行することで、市民満足度が上がると思われるため、積極的に地元関係者との意見交換の場を持つことが必要である。

個別目標① 適正な都市計画により、秩序があり美しく、快適なまちづくりが行われている

指標名	都市計画道路の整備率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・都市計画道路整備事業(江南岩倉線)
目標値	%	—	64.9	65.1	65.1	
実績値	%	64.5	64.9	65.4	—	
達成率	%	—	100.0	100.5	—	
達成状況	—	—	☀️	☀️	—	

取り組みの状況

市民	地元住民への周知や工事協力を依頼し、問題点について協議した。
市役所	工事中の安全確保や、工事の速やかな完了を検討し整備を行った。

目標達成のための今後の展開方針

生産緑地指定された土地所有者に対して、適切な管理を促す。
 宅地開発申請等の事前協議において、適切な指導を行う。
 市民に理解されるような、計画的な都市計画道路の整備を進める。
 地元説明を十分に行ない都市計画道路の整備計画をたてる。

個別目標に対するまちづくり評価

時代のニーズに合った街づくりを進めるため、地元組織との調整を心がけてほしい。
 街づくりは目先の計画ではなく、将来を見据えた計画で進めてほしい。

個別目標② 魅力的で快適な市街地が整備され、多くの市民で賑わっている

指標名	駅前や市街地が整備され、人々が集いにぎわっていると感じる市民の割合
-----	-----------------------------------

	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	-	-	13.0	・交通結節点整備事業 ・江南駅バリアフリー化対策事業 ・江南駅周辺交通環境改善事業 ・バリアフリー施設整備事業 ・布袋駅付近鉄道高架化整備事業
実績値	%	8.8	-	-	15.0	
達成率	%	—	-	-	115.4	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	駅前広場等の交通結節機能が整備され利便性が向上し、これらが利用された。
市役所	駅前広場等の交通結節機能の整備を行い、利用者の利便性を向上させた。

指標名	江南駅・布袋駅の1日乗降客数
-----	----------------

	単位	H17 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	33,800	33,800	33,800	・交通結節点整備事業 ・江南駅バリアフリー化対策事業 ・江南駅周辺交通環境改善事業 ・バリアフリー施設整備事業 ・布袋駅付近鉄道高架化整備事業
実績値	人	33,800	33,446	32,449		
達成率	%	—	0.0	0.0		
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	公共交通機関を積極的に利用した。
市役所	江南駅のバリアフリー化の促進について、地元の理解を得ながら整備を進めた。また、布袋駅の高架化を地元と協議をしながら整備を進めた。

指標名	江南駅前広場を通過する車両の台数
-----	------------------

	単位	H17 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	台	—	8,800	7,400	6,000	・交通結節点整備事業 ・江南駅周辺交通環境改善事業
実績値	台	8,800	—	6,544		
達成率	%	—	-	113.1		
達成状況	—	—	—			

取り組みの状況

市民	駅利用と関係ない車両は、駅前広場に流入しない道路を利用することにより駅前広場へ進入しなくなった。
----	--

市役所	駅利用と関係ない車両は、駅前広場に流入しないための周辺道路を整備することにより駅前広場への進入を減少させた。

目標達成のための今後の展開方針	
交通結節機能整備による即効的な効果も考慮し、段階的な整備を検討する。面的な開発が推進されるよう民間による市街地再開発事業を誘導、促進する。地元住民によるまちづくり活動が活性化されるよう必要な支援を検討していく。	

個別目標に対するまちづくり評価	
高齢化社会にも対応できるよう、特に鉄道駅付近については、引き続き駅前広場等の交通結節機能整備を続けていただくとともに、それらが多数の市民に利用されるよう面的な整備が推進されるような施策を検討いただき、結果的に利便性の高い地区にすることにより街の活性化につながっていくと思われまます。	

個別目標③ 土地区画整理事業などが行われ、快適な住環境で生活を送っている

指標名	土地区画整理事業の移転件数					
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・物件移転補償事業 ・道路・排水路等整備事業
目標値	件	—	155	180	183	
実績値	件	126	161	174		
達成率	%	—	103.9	96.7		
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	土地区画整理事業を理解し、物件移転及び道路築造工事等に協力をした。
市役所	土地区画整理事業の情報を提供し、物件移転及び道路築造工事等を推進した。

目標達成のための今後の展開方針	
事業の早期完了に向け、物件移転等に対してより一層の理解と協力を求める。	

個別目標に対するまちづくり評価	
土地区画整理事業の推進には関係者の理解と協力が不可欠であり、そのためには行政からのより積極的な説明等を心がけてほしい。	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

快適で便利な市街地整備を進めるために、都市計画道路の安心安全な交通を目指し整備を行っているが、限られた財源の中で国の補助を受け行うことができた。

駅前交通混雑を緩和するために、平成20年度に行った駅周辺の道路整備を受け、平成21年度に調査結果として交通渋滞の緩和に結びつく結果がでた。

◆柱全体の今後の課題

駅前や市街地に人々が集い賑わっていると感じる市民の割合については、市民満足度調査によれば目標値には近いものの、今後も中心市街地の基盤整備を始め、商店街等の活性化に繋がる施策を進める必要がある。

都市計画道路の整備率については、全国レベルからすると遅れている現状であるため、今後も計画的に進める必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

街の賑わいを取り戻す全体目標が達成されるよう、関係課及び市民団体等の調整を行い効率的な施策の検討を行う。

まちづくり評価シート

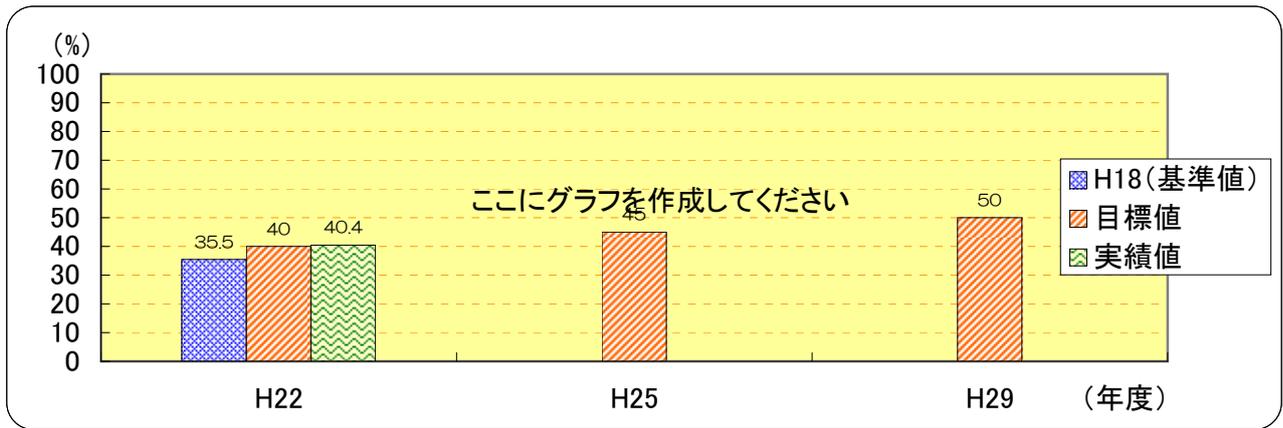
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

土木建築課【担う柱:2 人にやさしいまちづくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 道路が整備され、人や車が安全・快適に通行している

指標名	道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析 市民が日常的に利用する生活道路を地元等の要望を基に整備したことにより、市民の満足度が得られたと考えられる。
目標値	%	—	40.0	
実績値	%	35.5	40.4	
達成率	%	—	101.0	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価
 道路が整備され、人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合が、平成22年度の目標値40%と同値の40.4%の実績値を得たことは評価できる。今後は、更に実績値を上回るように施策を進めることをお願いしたい。

個別目標① 道路などの財産が適切に管理され、快適に利用している

指標名	市道のアダプト制度の登録者数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・アダプト・プログラム事業
目標値	人	—	256	420	583	
実績値	人	175	410	409		
達成率	%	—	160.2	97.4		
達成状況	—	—	☀	☀		

取り組みの状況

市民	道路・河川に愛着をもち、積極的にアダプト活動に参加した。
市役所	広報でアダプト活動の紹介を行うことにより、道路・河川に愛着をもたせ、道路施設に対する意識の高揚を図った。

指標名	道路案内標識設置数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	基	—	59	61	75	・道路側溝・舗装工事等事業
実績値	基	55	55	55		
達成率	%	—	93.2	90.2		
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	目的地へスムーズに到達するために必要となる案内標識設置箇所を要望した。
市役所	目的地へ安全にスムーズに誘導するために必要となる案内標識設置箇所の洗い出しを行った。

目標達成のための今後の展開方針
<p>広報こうなん等でPRを行い、アダプトプログラムの登録者数の増員を図っていく。</p> <p>道路案内標識の設置数については、平成18年度から平成21年度はその期間に新たな道路及び公共施設の建設が無く、案内標識を設置する必要がなかったことから55箇所のままであるが、今後は自動車の利用者が増加し、市内の交通量も増える状況のなか、道路が分かりにくいと言う声もあるため、道路案内標識の整備を進めていく。</p>

個別目標に対するまちづくり評価
<p>道路美化に対する認識は高まってきたと思われる。より認識を高めるために、引き続きアダプト制度のPRをお願いしたい。</p> <p>施設名称の変更に伴う案内標識の整備は行われたと思われる。今後は目的地にスムーズに辿り着けるように道路案内標識の設置をお願いしたい。</p>

個別目標② 道路、橋りょう、排水施設が整備され、円滑な通行が確保されている

指標名	主要市道の歩道整備率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	67.0	68.0	69.0	・道路新設改良事業(市道上奈良千秋線) ・道路新設改良事業(市道後飛保和田線)
実績値	%	65.1	65.9	66.2		
達成率	%	—	98.4	97.4		
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	区長等が歩道を整備するように要望した。 地権者が境界立会に出席した。
市役所	市道上奈良千秋線を延長101m整備した。 市道後飛保和田線を用地取得のための境界立会等を実施した。

指標名	舗装整備率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	89.5	90.0	91.0	・道路側溝・舗装工事等事業
実績値	%	89.1	89.2	89.1		
達成率	%	—	99.7	99.0		
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	区長等が舗装を整備するように要望した。
市役所	区長等の要望に基づき舗装工事を実施した。

目標達成のための今後の展開方針

早急に整備が必要な路線を選定し、計画的に整備する。

個別目標に対するまちづくり評価

主要市道の歩道整備・舗装整備については、一定の成果がでているので評価できる。住民説明会等を開催するなどして、市民の声を取り入れた計画を実施していただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

アダプトへの参加を市民にPRすることにより、地域の道路・河川などに愛着をもたせ、環境美化に対する認識は高まってきたと思われる。

限られた財源の中で、より必要性の高い整備路線を選定することにより、計画的、効率的な道路整備を行うことができました。

◆柱全体の今後の課題

道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合は、市民満足度調査によれば半分にも満たない約40%という結果である。

市民が日常的に利用する生活道路の安全性、利便性の向上に対するニーズが高まっていることを踏まえ、限られた財源において、より計画的、効率的な道路整備を行うことが大きな課題となる。そのためにも、職員の意識の向上が求められるとともに、より質の高いサービスを提供するためにも、財源などの確保が必要になる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

人にやさしいみちづくりの早期実現を目指し、限られた資源により最大限の効果が得られるよう常に心がけて取り組んでいく。

そのためにも、市民がみちづくりに積極的に参加してもらえよう関係課との調整を行い、また市民の声を聞く機会を充実させ、その声を効率的に反映するように日常的なパトロールの強化に努めていく。

まちづくり評価シート

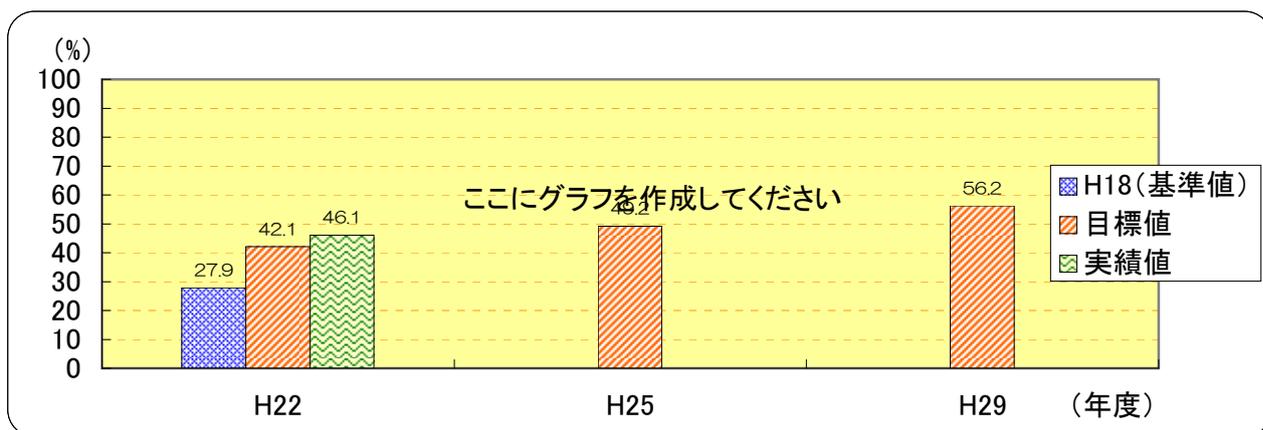
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

まちづくり課【担う柱:3 花と緑あふれる公園づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 公園などが整備され、ゆとりとうるおいのある生活を送っている

指標名	ゆとりとうるおいのある生活を送っていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析 実績値に大きく影響しているのはフラワーパーク江南がH19. 10 に開園したことであると思う。
目標値	%	—	42.1	
実績値	%	27.9	46.1	
達成率	%	—	109.5	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

H18以降、曼陀羅寺公園整備や高屋西町公園整備、市営住宅跡地を利用した広場整備などを実施してきたが、国営公園であるフラワーパーク江南の開園が実績値に大きく影響していると思われる。フラワーパーク江南はH19. 10に開園して以来、H22. 4までに3回、開園区域が拡大されてきたが、今後については用地買収に難航しているため早い時期での開園区域拡大が難しい状況の中、国への用地交渉の協力や整備要望を行っていく。また、市の公園整備計画においても用地確保や財源の確保等課題のある中、江南市緑の基本計画に沿った地域格差の解消に向けた公園整備に取り組んでいただきたい。

個別目標① 都市公園等が整備され、日ごろから公園に歩いて行き、うるおいのある生活をしている

指標名	市民一人当たりの都市公園面積					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・街区公園等整備事業 ・花の広場整備事業
目標値	m ²	—	2.75	2.97	3.20	
実績値	m ²	2.52	3.43	3.46		
達成率	%	—	124.7	116.5		
達成状況	—	—	☀	☀		

取り組みの状況

市民	北山広場整備計画について要望を述べた。 花の広場の維持管理の一部をH22から地元が行うことになった。
市役所	北山広場整備計画を事前に地区代表に示し意見を伺った。 広場の設備でユニバーサルデザインのものを使用した。

目標達成のための今後の展開方針

江南市緑の基本計画に沿った計画的な都市公園の整備を進めると共に、フラワーパーク江南の用地交渉の協力と整備について要望活動を行なう。

個別目標に対するまちづくり評価

公園は子供たちの遊びの場の提供ばかりでなく、大人の憩いの場としても大変有効であるので、限られた資源を活用しながらではあるが計画的な都市公園の面積の拡大をお願いしたい。

個別目標② 都市緑化が推進され、うるおいとゆとりのある生活を送っている

指標名	花いっぱい運動実施箇所数					主な事務事業 ・緑化推進事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	箇所	—	25	26	27	
実績値	箇所	25	27	32		
達成率	%	—	108.0	123.1		
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	花いっぱい運動に協力して花の苗の植栽、水やり、雑草の除去などを行なった。
市役所	花の苗と必要に応じて培養土や肥料を配付した。

目標達成のための今後の展開方針

花いっぱい運動については、配付する花の苗の種類を検討して活性化を図る。
花のコンクールについては、より多くの人に応募できるような魅力あるものにするよう検討する。
フラワーパーク江南については、開園区域の拡大に伴い、より多くの人に参加できるようなイベントが開催できるよう努力する。

個別目標に対するまちづくり評価

花いっぱい運動については目標以上の運動箇所の増加があり、ある程度評価はするが、毎年決まった花の配付が続いているため、花の苗の種類を検討して活性化を図るべきである。
花のコンクールについては、より多くの人に応募できるような魅力あるものにするよう検討していただきたい。フラワーパーク江南については、開園区域の拡大に伴い、より多くの人に参加できるようなイベントが開催できるよう努力する必要がある。

個別目標③ 地域で維持管理される公園・緑地等が増え、適切に利用されている

指標名	地域で管理されている公園緑地などの数					主な事務事業 ・公園等維持管理事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	箇所	—	28	29	30	
実績値	箇所	28	32	33		
達成率	%	—	114.3	113.8		
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	地元で整備される公園や既に供用開始している公園などの清掃が区民でできないか検討した。
市役所	整備される公園や既に供用開始している公園などの清掃が地元区でできないか協議した。

目標達成のための今後の展開方針
新規に設置する公園等については、地元で清掃委託できるように地元区と協議を進めながら整備をしていく。既存で地元で清掃委託できるように地元の意向を確認しながらお願いしていく。

個別目標に対するまちづくり評価
地域で管理されている公園緑地の数は目標を大きく超えている結果であるが、今後ともコスト面からも努力されたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
<p>国営公園フラワーパーク江南の開園区域拡大に伴って、市民一人当たりの都市公園面積が増大した。都市公園面積には影響しないが、身近な広場として市営住宅跡地を北山広場、花の広場として整備した。広場整備する際や地元で清掃等を委託している公園などに花壇を設け、地元で花いっぱい運動の協力を得ることによって花いっぱい運動実施箇所を増やすことが出来た。整備した広場の清掃等を地元で委託できた。</p>

◆柱全体の今後の課題
<p>今後の都市公園の整備については厳しい状況にある中、現在、策定中の江南市緑の基本計画において定める基本方針に沿って整備を進める必要がある。花いっぱい運動については、魅力ある花の苗を選定して運動の活性化を図る必要がある。花のコンクールについては、より多くの人々が参加できるものにしていく必要がある。新規に設置する公園等については、地元で清掃委託できるように地元区と協議を進めながら整備していく必要がある。既に供用開始している公園等についても地元で清掃委託できるように地元の意向を確認しながらお願いしていく。</p>

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
<p>今後の都市公園の整備については、江南市緑の基本計画において定める基本方針に沿って整備を進めると共に、フラワーパーク江南の用地交渉の協力と整備について要望活動を行なう。花いっぱい運動については、魅力ある花の苗を選定して運動の活性化を図る。花のコンクールについては、より多くの人々が参加できるものにしていく。新規に設置する公園等については、地元で清掃委託できるように地元区と協議を進めながら整備していく。既に供用開始している公園等についても地元で清掃委託できるように地元の意向を確認しながらお願いしていく。</p>

まちづくり評価シート

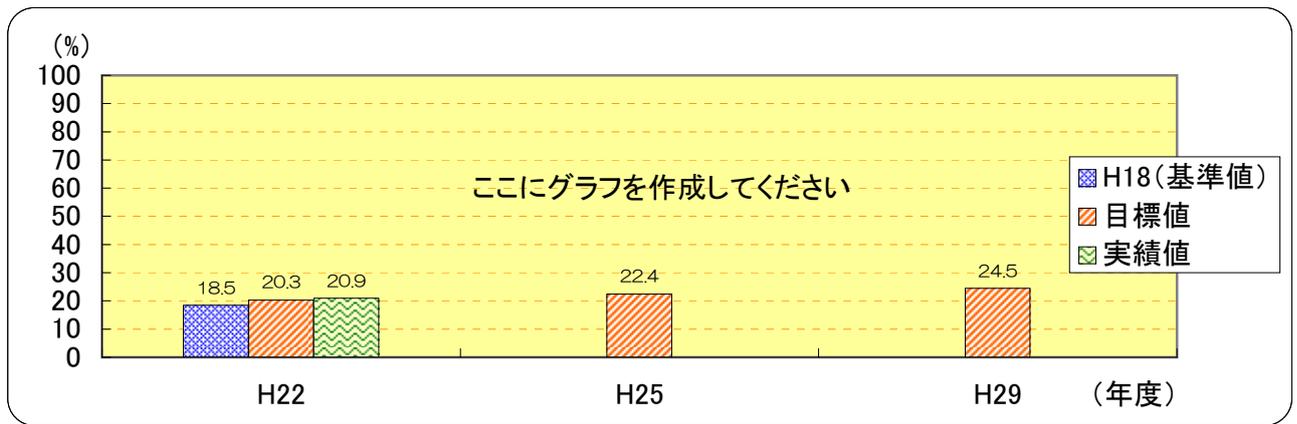
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

下水道課【担う柱:4 公共下水道の普及促進】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 下水道が整備され、快適な水環境の下で生活している

指標名	下水道普及率			実績値の分析 市民の清潔で快適な生活環境の向上のため、下水道整備促進に努めた。
	単位	H18 (基準値)	H22	
目標値	%	—	20.3	
実績値	%	18.5	20.9	
達成率	%	—	103.0	
達成状況	—	—	☀️	



全体目標に対するまちづくり評価

下水道普及率の実施値(平成21年度)は20.9%で目標値を達成することができているが、県下下水道普及率70.8%に比べると大きく遅れています。今後は、更に事業の進捗を図り、下水道普及率を向上してもらいたい。

個別目標① 下水道使用料、受益者負担金の収納率が向上し、健全で安定した下水道事業が運営されている

指標名	下水道使用料の収納率(現年度)					主な事務事業 ・下水道使用料賦課徴収事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	↑	↑	↑	
実績値	%	98.9	98.5	98.8	—	
達成率	%	—	—	—	—	
達成状況	—	—	↑	↑	—	

取り組みの状況

市民	下水道使用料を納付した。
市役所	下水道使用料のコンビニ収納を導入し、納付機会の拡大により納付者の利便性を高めながら納期内納付を推進し収納率の向上を図った。

指標名	受益者負担金の収納率(現年度)					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・受益者負担金賦課徴収事業
実績値	%	98.8	98.8	98.6		
達成率	%	—	—	—		
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	下水道受益者負担金を納付した。
市役所	受益者負担金の徴収及び啓発活動に努めた。

目標達成のための今後の展開方針
水道課と調整を図りつつ給水停止実施の強化の体制をとる等、収納率の向上を図る。

個別目標に対するまちづくり評価
下水道使用料、受益者負担金の適切な徴収は、事業の健全な経営及び住民間の公平性の確保につながる。今後もさらなる取り組みをお願いしたい。

個別目標② 下水道が整備され、生活環境が向上している

指標名	認可区域内の整備率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	73.2	76.5	79.0	・管きよ布設事業
実績値	%	66.3	73.2	76.5		
達成率	%	—	100.0	100.0		
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	下水道工事説明会に参加し、埋設工事に対し理解する。
市役所	整備地区の全世帯を対象に工事説明会を開催し、パワーポイントを用いるなど解りやすく説明を行った。 期間の短縮、工事の施工時期の分散による集中化を回避する等、沿線住民に配慮して工事を施工した。

指標名	供用開始区域内の接続率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	75.2	79.1	83.0	・排水設備関連補助金交付事業
実績値	%	67.3	75.4	78.2		
達成率	%	—	100.3	98.9		
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	自然環境への効果等下水道の役割、必要性の理解を深める。 255件の排水設備等計画確認申請書の申請を行った
市役所	職員が未接続宅を個別訪問し、下水道の必要性を説明し、早期の接続依頼を行った。

目標達成のための今後の展開方針

上位計画等の変更にあわせ計画の見直しを図り、費用対効果の高い整備手順を重点に検討していく。今後もなお一層、供用開始後未接続宅の早期接続を促すため、早期個別訪問を実施していく。

個別目標に対するまちづくり評価

江南市下水道は、五条川右岸流域下水道事業として進められ、市だけの経済状況等が悪いという理由で先延ばしすることができません。他の構成市町の事業進捗も検討材料に加え、事業を進めていく必要があります。経済状況が厳しい中ではありますが、下水道事業には特別な配慮が必要と考えます。下水道事業は、都市基盤施設のひとつであり、河川環境の保全を第一の目標としています。環境問題が高まる中、市民の環境への意識も高まりつつあります。早期に事業を進める必要があります。財政状況の厳しい折ではありますが、下水道の効果が早期に図られるよう優先的に行う必要があると考えます。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

平成21年度においては、14.0haの区域を整備し、平成22年4月1日現在331.1haが下水道を使える区域となっております。

◆柱全体の今後の課題

下水道普及率の達成率が103.0%で目標を若干超えることができたが、依然、江南市下水道普及率20.9%は、県下の供用開始市町村において下位となっており愛知県の平成21年度末の普及率70.8%(名古屋市を除くと58.7%)や、全国平均の72.7%(平成20年度末)と比べると大きく遅れております。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

平成21年度末江南市下水道普及率20.9%は、県下の供用開始市町村において下位となっており、愛知県の平成21年度末の普及率70.8%(名古屋市を除くと58.7%)や、全国平均の72.7%(平成20年度末)と比べると大きく遅れております。こうした中事業の進捗を図るため、平成21年度に行った基本計画の変更により図ることができたコスト縮減効果を活用し、費用対効果の高い整備手法を用いた整備を推進し、下水道普及率を向上したい。

まちづくり評価シート

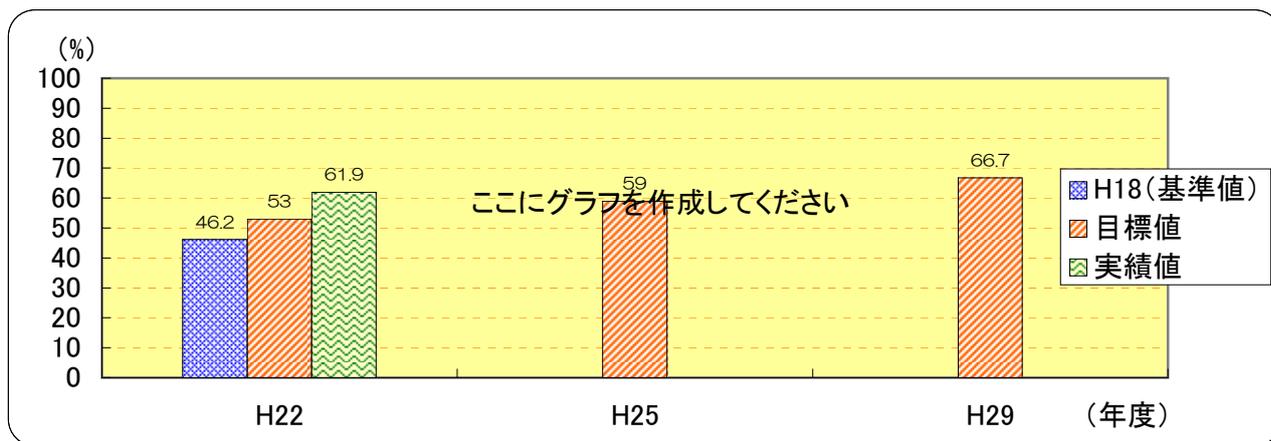
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

土木建築課【担う柱:5 浸水被害のないまちづくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 河川等が整備され浸水被害に遭うことなく、安心して暮らしている

指標名	河川が整備され、安心して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	53.0	大きな水路改修はしていないが、浸水被害の恐れがある家屋に対しては、土のうなどの対応をしたこと、新たな項目を加えて雨水浸透施設設置補助を見直したこと、総合治水計画を改訂したことなどが、評価され、目標値を上回ったと考える。
実績値	%	46.2	61.9	
達成率	%	—	116.8	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

平成22年3月に江南市における今後の効率・効果的な治水対策の推進を図るため、河川・排水路対策、流域対策及び浸水被害軽減対策等を含めた総合的な第3次江南市総合治水計画を策定したことで、これから具体的にどのように計画を実行していくのかが、この先の評価に現れると考える。また、新たな項目を加えて、見直した雨水浸透施設設置補助制度をいかに市民の方に周知してもらい、利用度を高めるかも評価を左右すると考える。

個別目標① 河川等の改修整備と雨水抑制機能が強化され、浸水被害が軽減している

指標名	準用河川般若川改修率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	92.0	92.0	92.0	準用河川般若川改修事業
実績値	%	86.0	92.0	92.0		
達成率	%	—	100.0	100.0		
達成状況	—	—	☀	☀		

取り組みの状況

市民

市役所 市道江南岩倉線下流部が尾張農林事務所が施工する区間となっているが、ここを改修しないと市の部分だけを改修しても効果がないので、尾張農林事務所に施工要望を強くした。

指標名	雨水浸透柵設置率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	17.0	19.0	21.0	・雨水抑制事業
実績値	%	12.2	8.0	9.0		
達成率	%	—	0.0	0.0		
達成状況	—	—	↑	↑		

取り組みの状況	
市民	建築申請をした市民の9%が補助金制度を利用して雨水浸透柵を設置した。
市役所	広報を通じて広く啓発を促したり、建築確認の段階で雨水浸透柵を設置していない建築主に、設置のお願い文書を出した。設置率を上げるため、補助金制度を見直した。

目標達成のための今後の展開方針
<p>準用河川般若川改修率をあげるため、未改修区間を実施できるよう関係機関等と協議して検討していく。民間関係機関(建築士事務所、行政書士、建設災害協力会、建設業協会、水道工事店組合、区長会)に広く周知させていく。また雨水抑制補助金対象の雨水浸透柵は、口径300mmを追加し、新たに雨水貯留槽、浸透トレンチ、透水性舗装も補助対象にすることで雨水流出抑制の選択肢を増やし、その周知にも力を注いでいく。</p>

個別目標に対するまちづくり評価
<p>引き続き関係機関に強く要望し、準用河川般若川改修率を92%から100%になるよう努力していただきたい。雨水流出抑制において、雨水浸透柵だけの補助制度を見直し、新たな補助制度にすることは評価したい。今後は設置率が上がるよう努力していただきたい。</p>

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
<p>一定の期間内で効率・効果的な浸水被害の軽減を図るため、市域全体から重点的な施設整備が必要と考えられる地区(重点地区)を選定し、重点地区における目標設定を行い、目標を実現するために、「第3次江南市総合治水計画」を策定した。</p>

◆柱全体の今後の課題
<p>第3次江南市総合治水計画をどのような手法で具体的に実現していくかが、課題となっていく。</p>

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
<p>第3次江南市総合治水計画で示している重点地区のなかで、緊急度の高い地区から順に雨水貯留施設を施工して、浸水被害の緩和に努めていく。</p>

まちづくり評価シート

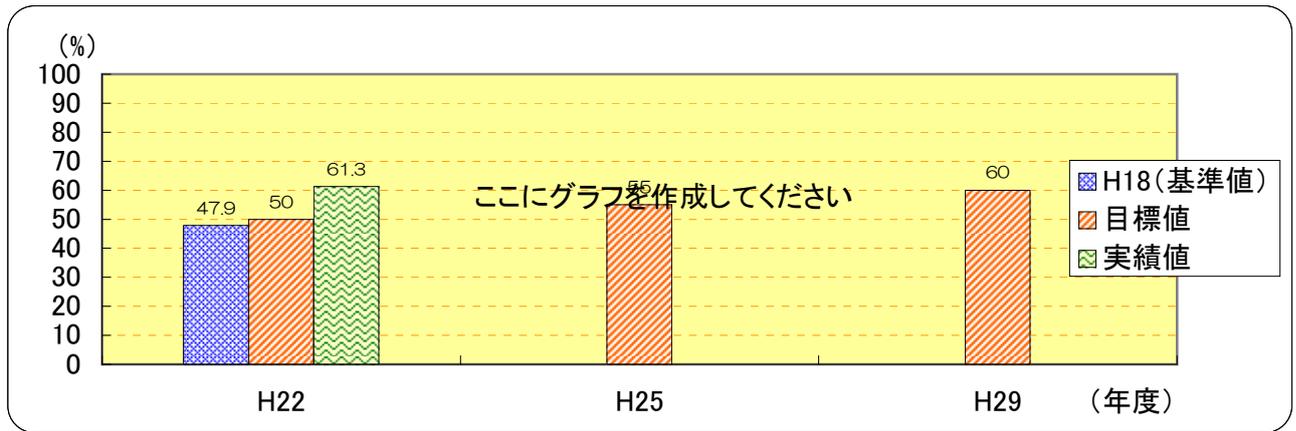
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

土木建築課【担う柱:6 安心・安全な住環境の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されている

指標名	住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感ずる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析 建築指導及び開発指導が民間組織との協働により適切に行われたこと、また、市営住宅の施設運営が適切に行われたことにより、実績値は61.3%という高評価を得た。
目標値	%	—	50.0	
実績値	%	47.9	61.3	
達成率	%	—	122.6	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感ずる市民の割合は、平成22年度の目標値50%を上回る実績値61.3%を得たことは評価できる。今後、更に実績値の向上を目指し、施策の推進をお願いしたい。

個別目標① 建築指導及び開発指導の民間組織との協働での取り組みは、安心・安全への住民意識を高揚させている

指標名	開発許可や建築許可に対する指導件数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・開発行為指導事業
目標値	件	—	260	260	260	
実績値	件	265	236	218		
達成率	%	—	110.2	119.3		
達成状況	—	—	☀	☀		

取り組みの状況

市民	審査会基準により、地域にあった健全な街づくりに協力している。
市役所	宅地開発等に関する指導要綱の見直しにより、民間活力による安心・安全な街づくりの指導に努めた。

指標名	民間での建築確認割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	85.0	88.0	90.0	・建築確認審査等事業
実績値	%	84.4	82.8	90.2		
達成率	%	—	0.0	102.5		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	愛知県と愛知県から委嘱された建築開発等指導員(市内建築士)と協働で違反建築物防止のため、建築現場をパトロールした。					
市役所	民間組織での建築確認をチェックし、定期的に建築現場をパトロールした。					

指標名	耐震診断の診断実施済棟数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	棟	—	1,800	2,100	2,500	・民間木造住宅耐震診断事業 ・耐震改修促進計画事業
実績値	棟	798	1,820	1,920		
達成率	%	—	101.1	91.4		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	ダイレクトメール及び町内会代表の方、愛知県耐震診断員と協働による耐震診断ローラー作戦などにより耐震診断を受診した。					
市役所	啓発パンフレットを作成し、ダイレクトメール、耐震診断ローラー作戦を実施するなど、耐震化の意識啓発を行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>開発許可や建築許可については、これまでどおりの相談が予想されるため、担当職員の知識向上を図り適切な指導を行なう。</p> <p>建築確認に対する相談への対応や民間組織への指導を継続して行い、安全・安心な住環境を確保する。</p> <p>「江南市耐震改修促進計画」の目標達成に向けた耐震診断の受診について、市民や専門家との協働により、耐震化のさらなる情報提供、啓発、普及に係る事業を推進する。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>建築指導及び開発指導並びに木造住宅耐震化の促進に対する民間組織との協働での取り組みにより、住民の安全・安心への意識啓発を図る努力は評価できる。更に安全・安心な住環境を確保できるよう、民間組織と連携を図り、効果的な建築・開発指導をお願いしたい。</p>	

個別目標② 市営住宅は、住民による施設運営への参加により、安心・安全な生活環境が確保されている

指標名	適切に整備・維持管理がなされている市営住宅の住宅戸数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	戸	—	153	153	153	・住宅維持・管理事務 ・地上デジタル放送移行対策事業 ・住宅賃貸事務
実績値	戸	153	153	153		
達成率	%	—	100.0	100.0		
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	施設維持管理(共用部分の清掃、低木の剪定・消毒、草刈り)を自治会で行った。 自治会等で市営住宅の注意事項を確認した。
市役所	住宅設備の保守点検や維持管理及び各種必要な修繕を行った。 地上デジタル放送移行に伴う障害調査を行った。 広報などで空家募集を行い住宅供給を行った。 入居者の異動等を把握し、家賃の決定・減免を行った。 入居者へ文書等により注意事項の周知を図った。

目標達成のための今後の展開方針

市営山王住宅の当初建設住棟は築18年を経過しているため、平成23年度よりプロジェクト事業として改修計画を行っていく。
市営住宅の入居に際しての注意事項を市から入居者へ文書等により周知を図っていくとともに、自治会との協働により徹底していく。

個別目標に対するまちづくり評価

入居者が健康で文化的な生活を送るために、施設の維持管理に努めていることは評価できる。今後、ますます公営住宅の入居希望者は増加すると思われるため、市民への市営住宅を含めた公営住宅の募集案内などの情報提供をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

開発指導では宅地開発等審査会設置要綱を改正し、審査会諮問案件を軽減することにより、事務量の軽減を図った。また、民間組織との協働により、耐震診断ローラー作戦を実施し、耐震化の意識啓発ができた。
市営住宅は地上デジタル放送移行に伴う支障がなく、保守点検・修繕を行い適切な住宅の維持管理を行うことができた。

◆柱全体の今後の課題

安心・安全な住環境を確保するため、耐震化の必要な木造住宅について、耐震化に向けての更なる意識啓発に努める必要がある。また、市営住宅については、建物の老朽化に伴う大規模修繕が必要であり、市営住宅の適切な運営のために入居者が契約内容・注意事項を遵守するよう努める。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

安心・安全な住環境を確保するため、市民や専門家との協働により、開発・建築指導及び耐震化の啓発活動を行う。また、住宅施策については、市営山王住宅から平成23年度よりプロジェクト事業として改修計画を行い、市営住宅の適切な運営を推進していくために自治会等との協働の方法も模索していく。

まちづくり評価シート

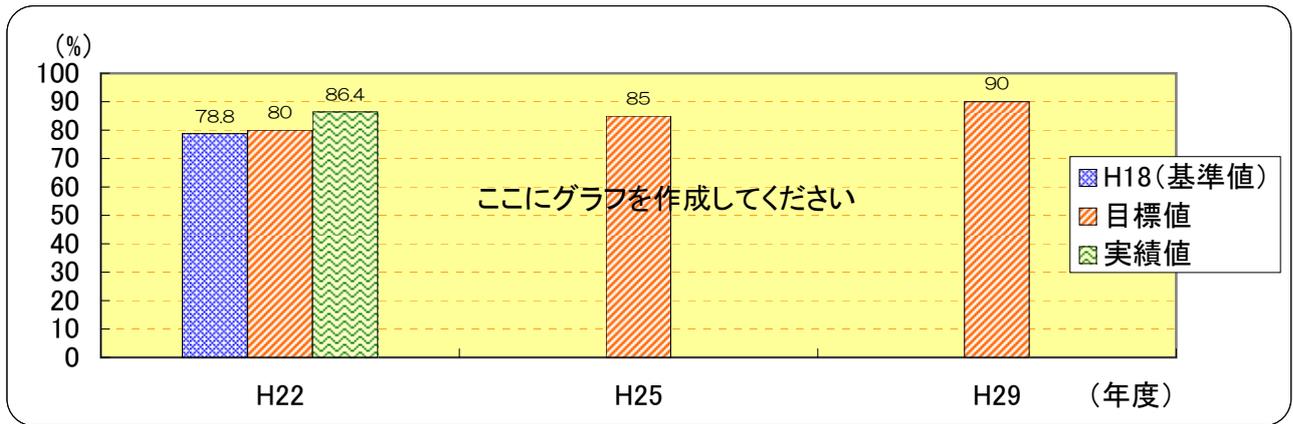
都市整備部【担う分野：Ⅲ 都市生活基盤分野】

水道課【担う柱：7 健全な水道事業経営と安全な水の安定供給】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 健全な経営と水道施設の整備が行われ安全な水道水が安定的に供給され、市民は安心して利用している

指標名	安全な水が安定して供給されていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H18 (基準値)	H22	
目標値	%	—	80.0	水質に問題は生じず、断水事故や水圧・水量不足もなく、安定して水道を供給できている。このことにより市民が安心して水道を利用できていることから、市民満足度調査結果も目標値を上回り、達成率108.0%となり、達成状況としては晴れマークとなった。
実績値	%	78.8	86.4	
達成率	%	—	108.0	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

市民満足度調査結果からも「安全な水の安定供給」に対して8割以上の市民が満足している。今後は、水道施設の耐震化の必要性が高まると思われる。施設の更新及び耐震化を計画的に進めてもらいたい。

個別目標① 水道事業が適正に運営され、健全な経営が行われている

指標名	水道料金の収納率(現年度)					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	↑	↑	↑	・水道料金賦課等事業 ・水道料金賦課等事業(コンビニ収納)
実績値	%	98.4	98.4	98.7	—	
達成率	%	—	—	—	—	
達成状況	—	—	↑	☀	—	

取り組みの状況

市民	水道料金を速やかに支払った。
市役所	市民のライフスタイルの多様化に伴い、時間や曜日に関係なく払い込みのできるコンビニ収納を実施するため料金システム・歳入システムの改修及び周辺機器のリース契約を行う等し、収納機会の拡大を図った。

指標名	総収支比率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	106.9	106.5	106.2	・企業会計管理事業 ・職員給与管理事業
実績値	%	109.7	113.0	113.0		
達成率	%	—	100.0	100.0		
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	収納コストの安い口座振替を利用して水道料金を支払った。
市役所	江南市経営健全化計画・財政推計を策定し、計画的に事業を執行した。給水収益が減少している中、人件費の削減等を図り利益を確保した。

指標名	水道普及率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	

目標値	%	—	89.0	89.1	89.2	・簡易水道事業
実績値	%	88.8	88.9	89.2		
達成率	%	—	99.9	100.1		
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	市の水道事業への統合に向けた話し合いに応じた。
市役所	簡易水道組合との統合に向け協議を行い、事業費の試算やスケジュールなどの検討を図った。

目標達成のための今後の展開方針

今後一層の口座振替の利用促進に努める。またコンビニ収納の利便性を生かし早期収納を図っていく。景気の後退や節水型社会への移行に伴う有収水量の減少、施設の更新に向けた財源の確保、サービス水準の向上など様々な課題を抱えているなかで今後の安定的・効率的な事業を継続していくため、適正な定員管理や積極的な情報開示、的確な需要予測に基づく計画性・透明性の高い企業経営を推進していく。簡易水道組合については、統合に向けた事業計画の策定や上水道事業に与える影響を分析し、円滑な事業統合に取り組む。

個別目標に対するまちづくり評価

安定的・効率的な事業を継続していくため、施設の更新に向けた財源の確保は重要な課題である。公平・公正な水道料金の徴収が、水道事業の健全運営には欠かせないものである。今後とも収納率の向上に努めてもらいたい。

個別目標② 水道施設が整備され、安定した水道水が供給されている

指標名	配水管改良整備率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	

目標値	%	—	75.0	76.4	77.8	・配水管布設・改良事業
実績値	%	72.1	74.9	76.3		
達成率	%	—	99.9	99.9		
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	配水管路の水圧・水量不足や濁水の発生などの情報を提供した。
市役所	配水管路の状況を把握し、第二次配水管改良計画に従い計画的に配水管布設・改良工事を実施した。

指標名	地下水の許可揚水量活用率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	94.8	98.0	98.0	・施設維持管理事業 ・取水、配水事業
実績値	%	93.8	91.2	90.0		
達成率	%	—	0.0	0.0		
達成状況	—	—	↑	↑		
取り組みの状況						
市民	地下水の水質を悪化しないよう環境に配慮した。					
市役所	低下した揚水能力の回復を図るため、井戸の浚渫を実施した。					

指標名	有収率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	91.9	92.2	92.5	・漏水調査事業
実績値	%	91.4	91.5	92.8		
達成率	%	—	99.6	100.7		
達成状況	—	—	☀	☀		
取り組みの状況						
市民	宅内漏水を発見し、速やかに修繕を行った。					
市役所	早期に漏水調査を実施し、発見した漏水箇所を修理した。 検針時に、宅内漏水の有無を確認し、漏水している場合には市民にお知らせした。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>想定される地震に備えるため、耐震性のある材料の使用を調査・研究する。 地下水の有効利用について、依然として低下傾向であるので、平成22年度の浚渫の一巡を目途に工法等を調査研究する。 有収率の向上のため、有効な手段である漏水調査委託を平成23年度まで実施する。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>安全な水道水の安定供給は最も重要な課題である。 配水管を含む水道施設の耐震化を計画的に進められたい。 揚水能力の維持と改善を図り、地下水の有効利用に努められたい。</p>	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
<p>江南市水道事業経営健全化計画に基づき職員数の削減を図れた。給水収益は景気の後退の影響から減少傾向にあるが、職員給与費を削減できたことにより、利益は確保できており経営状況は安定している。 コンビニ収納を実施し、収納機会の拡大を図り利用者の利便性が高まっている。 配水管改良計画どおり実施し、漏水調査により有収率が改善できた。また、揚水能力の低下は緩やかになっているものの、依然として低下傾向である。</p>

◆柱全体の今後の課題
<p>社会情勢の変化、住民ニーズも高度化・多様化している中であっては引き続き健全な財政運営ができるような事業計画が求められる。 水道施設の老朽化と地震に対応するため、計画的な水道施設の更新と耐震化が求められている。</p>

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
<p>景気の後退や節水型社会への移行に伴う有収水量の減少、施設の更新に向けた財源の確保、サービス水準の向上など様々な課題を抱えているなかで今後の安定的・効率的な事業を継続していくため、適正な定員管理や積極的な情報開示、的確な需要予測に基づく計画性・透明性の高い企業経営を推進していく。</p>